

## News &amp; Information

## 「日本医学会総会2015関西」に参加

2015年4月11日(土)～4月13日(月)の3日間、国立京都国際会館イベントホールで行われた第29回日本医学会総会2015関西の企業展示に、(株)東芝ヘルスケア社による学術展示と合わせて参加しました。当社の出展は次のとおりです。

## ●地域包括ケア支援サービス

一利用者管理(介護サービス利用者支援)……家族を含む利用者と多職種間で、情報共有をペーパーレスで実現。訪問先でもバイタル記録、お薬の服用管理、サービス記録などが簡単に登録・管理・印刷できます。

一施設管理……介護記録、空床管理、リハビリ管理、食事、医療・介護の材料管理などが簡単に登録・管理でき、施設の稼働率を容易に把握できます。また施設利用者の生活パターンを把握することで、介護者のワークバランスの改善を図ることができます。

●音声つばやきSNS……スマートフォンにつばやくだけのやさしい音声入力で、多職種間でのコミュニケーションを支援します。安心・安全な医療・介護での「ひと」と「ひと」とのつながりを促進・サポートするSNSツールです。

## ●見守りシステム

一在宅ケア支援サービス……病院から退院して在宅治療される方、介護施設から退所して訪問介護を受ける方のバイタル情報を、Silmeeをはじめとする生体センサーで自動採取し、日々の変化を時系列で把握することが可能です。

一独居高齢者向け見守り支援システム……病院や介護施設から在宅復帰した独り暮らしの方を人感センサーなどで見守り、異常を検知した際に家族や関係者へ通知する安価な仕組みを提供します。

## 国際福祉健康産業展(ウェルフェア2015)に出展

2015年5月21日(木)～5月23日(土)にポートメッセなごや(名古屋市国際展示場)にて行われる「第18回国際福祉健康産

業展～ウェルフェア2015～」に出展します。同展は、高齢者や障害者の生活を支援する製品やサービスが紹介され、福祉・健康関連産業の振興を図るものです。当社は、福祉・介護での多職種連携を意識した地域包括ケア支援サービス(利用者管理、施設管理)、音声つばやきSNSを出展します。

## ESEC2015に出展

2015年5月13日(水)～15日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催される「第18回組込みシステム開発技術展(ESEC2015)」に出展します。高度化する情報機器向け組込みシステムに、LSI設計・プラットフォームからアプリケーション開発・ライセンス・サービスなど、最新のソリューションを提供します。

主な展示内容は次のとおりです。

## ●センサーネットワーク

920MHz対応ボードを利用したセンサーネットワークとMahoutによる故障診断ソリューションを提供

## ●ARウェアラブル

画像処理技術とAR技術を組み合わせ、手の動きで必要な情報を提供

## ●Visconti2を使用した形状認識

ステレオカメラでVisconti2による形状認識と位置の特定(距離計算)を実演

## ●コンテンツ保護対応アプリケーション(SeeQVault)

SeeQVaultとTransferJetによるコンテンツの高速転送とセキュリティを紹介

## ●モデルベース

モデルベース開発におけるクラウドサービスM-RADSHIPS Cloudと、コストパフォーマンスの高いリアルタイムシミュレータM-RADSHIPS High Speed Editionを紹介

## ●analogram

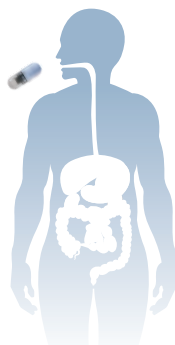
analogram アナログコアを切り替えることで開発期間の短縮やトータルコストを低減

## Next Wave

## カプセル内視鏡

カプセル内視鏡をご存知でしょうか。薬剤用カプセルを少し大きくした直径1cm程度の小型カメラを内蔵した内視鏡で、口から飲み込んで消化管を通過しながら画像を撮影し肛門から排出されるため、体への負担が少なく注目されています。

現在は、通常の内視鏡での検査が難しい小腸用カプセル内視鏡が一般的ですが、がんの部位別死亡者数で上位にある大腸がんを見つけるための大腸用カプセル内視鏡が、ようやく昨年から公的医療保険の対象になりました(公的医療保険は、通常の内視鏡検査が腸の狭窄や手術後の癒着などで困難な患者に限定)。



カプセル内視鏡は、通常の内視鏡に比べると、①診断精度が低い、②生検用の細胞の採取やポリープの切除が出来ない、③見つかった病変をターゲットにした観察が出来ない、などの課題があります。しかし、健康診断(便潜血検査)で「再検査が必要」とされる人のうち内視鏡検査を受ける人が半数以下に留まっているのは、内視鏡検査の苦痛や恥ずかしいなどのイメージの影響が大きいことが理由と思われる。

患者の精神的ストレスや身体への負担を与えない、安全な検査方法を望む声は大きく、さらなる技術革新によってカプセル内視鏡の普及が進むと期待されています。(博)